

CONTENTS 75

目次

トピックス	・ NPO法人「アクティブベースくれ」助成金事業、第7回募集開始 ... 1
	・ 第13回くれしん高校生イラスト募集 ... 2
	・ 第3回くれしん『ありがとうの手紙』キャンペーン ... 2
(くれしんNEWリーダーズクラブ(メンバー紹介))	・ 森田工業 株式会社 生産管理次長 森田 道仁さん ... 2
	・ 第84期通常総代会開催 ... A
	・ くれしん主要計数 ... B
	・ 呉市の認知症サポーターに登録されました ... B
探訪「ものづくり技術」 理事長からひと言	・ しおラムネ 株式会社 中元本店 ... 3
	・ “地域密着”の光と影 ... 4
	・ 第14回くれしんママさんバレーボール大会を開催しました ... 4
	・ 7月・8月の行事予定 ... 4
	・ 相談会スケジュール ... 4

トピックス

NPO法人「アクティブベースくれ」助成金事業、第7回募集開始 起業・新規事業で地域を活性化!

「アクティブベースくれ」では、7月1日より下記の要領にて地域活性化支援制度「幸運(グッドラック)」第7回の募集を開始しています。

応募資格：呉市を中心とした周辺地域に事務所、活動拠点がある中小企業、個人事業者の方
対象事業：地域活性化・振興に寄与できる起業・新規事業(新分野進出)あるいは社会的・文化的活動など

助成金額：計画する事業活動資金の2分の1以内で、最高250万円まで

募集期間：平成21年7月1日から8月31日まで

選考結果：平成21年10月発表予定

応募方法：所定の応募用紙により、「アクティブベースくれ」に申請・応募して下さい。

また、応募用紙はホームページからもダウンロードできます。

ホームページ：<http://www.abkure.or.jp>

呉信用金庫の本支店にも応募用紙を設置しています。

本件に関するお問い合わせ先：「アクティブベースくれ」

電話：0823 24-1200 FAX：0823 25-6440

くれしんは、地域金融機関として地域経済の活性化を目指し、「アクティブベースくれ」の地域貢献・振興活動を全面的に応援しています。

川尻支店新築移転オープン

8月3日(月)川尻支店が現在の店舗から国道185号線沿いに移転いたします。

オープン当日にご来店いただいた方に、記念品を贈呈いたします。



安登出張所ATMコーナー移転のお知らせ

7月27日(月)JR安登駅の敷地内に移転します。

現在ご利用いただいているATMコーナーは平成21年7月24日(金)の稼働を以って廃止いたします。

新ATMコーナーは、日曜日・祝日もご利用いただけます。

新安登出張所ATMコーナーの営業時間

平日 8:45~19:00
土・日・祝日 9:00~19:00

第13回くれしん高校生イラスト募集

当金庫では、地域の高校生に「未来」について考えてもらい、将来にわたって心と形に残るような、創造的な活動をしてもらいたいとの考えから、高校生を対象にイラストの募集を行っています。

テーマ 「未来のわたし」

「未来のわたし」20～30年後をイメージしてください！

「20～30年後の私は地域にどう関わっているのだろう、未来のわたしはどのような暮らしをしているのだろう」など、若者らしい自由な発想をイラストで表現してください。

応募資格 呉市、広島市、東広島市、三原市、竹原市、江田島市、安芸郡、豊田郡の高等学校及び高等専門学校の在学中の生徒

応募方法 所定の応募用紙をお使いください。(応募用紙は各営業店窓口にあります。)

宛 先 〒737-8686 呉市本通2丁目2番15号

呉信用金庫営業店支援本部地域貢献グループ「高校生イラスト」募集係

または、最寄りの営業店窓口で受付いたします。

締め切り 平成21年9月15日(火)必着

お問い合わせ 呉信用金庫営業店支援本部地域貢献グループ 担当 高山 TEL 0823-25-6826

第3回くれしん『ありがとうの手紙』キャンペーン

当金庫では、「しんきん『ありがとうの手紙』キャンペーン」に併せ、中学生を対象とした独自のキャンペーンを行っています。

テーマ あなたが伝えたい、大切な人への「ありがとう」

言いたいのになんか言えず、心の中にしまったままの「ありがとう」の気持ちを手紙にしてください。



応募資格 呉市内中学校の生徒

応募方法 800字以上1200字以内の手紙

用紙の規定はありません

応募者の氏名・住所・連絡先・年齢・性別・中学校名を明記の上、中学校単位でまとめていただき最寄りの営業店窓口へお持ちください。

締め切り 平成21年9月2日(水)必着

お問い合わせ 呉信用金庫営業店支援本部地域貢献グループ 担当 高山 TEL 0823-25-6826

くれしんNEWリーダーズクラブ(メンバー紹介)

弊社は、呉市広多賀谷の虹村工業団地でNC旋盤、マシニングセンター等を使い、主にジェットエンジン部品、陸上及び船用ポンプ部品の製造をしている会社です。「少数精鋭極限への挑戦」をモットーに陸、海、空、宇宙と様々な分野の仕事に携わり創業37年目を迎えさせて頂いております。

私の紹介をさせていただきます。昭和49年生まれ35歳、妻1人子2人(一姫二太郎)の4人家族です。

趣味は、カメラ、ハイキング、スキー、自転車で、春にはカメラを持って世羅や庄原に花の写真を撮りに行き、夏は泳げないので自宅で子供とビニールプール遊びをして、秋は紅葉狩りに宮島、三段峡、帝釈峡へハイキングに行き、冬は女鹿平温泉スキー場にスキーに行ったりしています。昨年「自転車で遠くに行きたい」という本を読んで自分も遠くへ行ってみたいと思い自転車(ロードバイク)の猛勉強中です。

くれしんNEWリーダーズクラブの勉強会では、私と同年代の経営者の方々と話をさせていただきますがいつも刺激を受けて帰り、自分ももっとやらねばと励まされます。今後も参加させていただきますので、皆様ご指導宜しくお願いいたします。

森田工業 株式会社
生産管理次長
森田 道仁 さん



当会では新規会員を募集しています。お問い合わせ くれしんNEWリーダーズクラブ事務局(担当:落合 TEL0823-25-6826)

探訪“ものづくり技術”

しおラムネ
～株式会社 中元本店～

私たちが生活している地域は、昔から「戦艦大和」の建造に象徴される“ものづくり技術”に優れ、戦後の造船、自動車、鉄鋼など地域の産業発展の原動力となり、それは現在も当地に脈々と流れています。こうした“ものづくり技術”こそ、当地の経済・産業の活性化・再生のポイントとなるのではないのでしょうか。このコーナーは、当地ならではの“ものづくり技術”を求めて探訪し紹介しています。今回は、呉市三条の株式会社中元本店（中元順一郎 工場長）にお伺いしました。

地産地消にこだわったトビキリの商品づくり

同社は大正14年、呉市三城通りで清涼飲料水（ラムネ）の製造販売業として創業。

昭和24年には清涼飲料水に加え、現在主力商品となっている漬物・佃煮の製造を開始しました。

現在では、50種類以上の漬物・佃煮を製造販売していますが、当初から素材の野菜は、生産者が見える倉橋町や蒲刈町、江田島市などの地元から仕入れ、「地産地消」にこだわった商品づくりをしています。



倉橋大根でつくった漬物



受け継がれてきた技術と職人の勘、経験が、他には真似のできない味をつくり出し、「新鮮な野菜」「職人の技」「発酵」が揃って「トビキリ」の美味しさがつくれます。

しおラムネ

創業以来80年あまりつくり続けられている「ラムネ」は有名ですが、この昔懐かしい「ラムネ」は「旧呉海軍に伝えたラムネ」ということで、大和ミュージアムのお土産「呉大和ラムネ」として販売しています。また、呉の新しい名産をつくりたいという思いから、今年4月に「海人の藻塩」を使用した新しいラムネ「しおラムネ」を開発しました。



呉大和ラムネ



しおラムネ

「しおラムネ」は、飲料水には考えもしなかった「塩」という材料を使用し、塩の旨みを活かした海の香りのするラムネです。

昨年11月に架橋された豊島大橋の開通を記念に、島に吹く潮風をイメージしてつくられています。

これからの夢

当社は「食べていただいた方に喜んでいただけるように」をものづくりの基本としています。

大量生産はしていません。作り手一人ひとりが気持ちを込め丁寧につくり「トビキリの商品」としてお客様にお届けしたいからです。これからも、呉の気質・風土にあった商品と、より多くの方に受け入れていただける商品づくりに努め、お客様に「喜びと楽しい食卓」のお手伝いをしていきたいと考えています。・・・と熱く語っておられました。



中元順一郎 工場長

くれしんは、これからも地域に根付いた、他に誇れる“ものづくり技術”を応援します！

第 84 期通常総代会開催

平成 21 年 6 月 12 日（金）第 84 期通常総代会を開催し、平成 20 年度業務の報告と平成 21 年度事業計画の報告、ならびに剰余金処分案が承認されました。



理事長挨拶

呉信用金庫第 84 期通常総代会の開催にあたりひと言ご挨拶を申し上げます。

総代の皆様には、何かとお忙しい中、総代会にご出席いただき、まことに有難うございます。総代の皆様には、日頃から、当金庫の業務運営、経営に対し深きご理解、熱きご支援を賜わり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

にもかかわらず、当金庫の平成 20 年度の業績におきまして、最後の着地がうまくいかず尻餅をついてしまい、損失決算となってしまいました。総代はじめ会員の皆様、地域のお客様にたいへんご心配をおかけしております。心からお詫び申し上げます次第です。

もちろん損失になったからといって経営の屋台骨にヒビが入ったという訳ではなく、自己資本比率も 10% 台は堅持しておりますが、損失決算に陥った理由、とくに内部要因、つまり私どもの内にある弱点を把握し、その改善に努め、損失を続けなければならぬと、私ども役職員全員、気を引締めているところであります。

いま、私どもが対処すべき「課題」は 2 つあって、それは 審査管理態勢の向上と、本来業務からの収益の増強、であると思います。

一方、私どもには「使命」があって、それは、地域経済活性化支援、即ち地域の中小企業、個人が必要とされる資金を円滑に供給することです。

当金庫の収益を強化するには、貸出の増加が不可欠です。それも、地域経済の活性化につながる貸出であれば言うことはありません。

ただし、その貸出が多額に不良債権化して当金庫の収益や体力を大きくおびやかす、当金庫がこの地域において「使命」を果たせなくなるとは元も子もありません。

要は、不良債権を出来るだけ小さくしつつ、貸出を伸ばしていくという、相矛盾する面はありますが、その両方を満足させるような経営をしていくことであります。総代の皆様にひとつお願いがあります。どうぞ当金庫から「いい借入」をしてください。「いい借入」とは、それによって事業活動が活発になり地域経済の活性化につながるような資金の借入であります。また総代の周囲にそういう借入のご要望があれば、どうぞ、当金庫にご紹介いただきたいと存じます。

くれしん主要計数

項 目		平成 21 年 6 月末	前年 (20/6 月) 比	前期末 (21/3 月) 比
主要勘定	預 金 積 金	6,387 ^{億円}	70	39
	うち法人	769	47	64
	個人	5,485	94	26
	貸 出 金	3,635	35	89
	うち法人	2,155	40	72
	個人	1,281	2	4
	有 価 証 券	1,950	28	64
	預 け 金	1,106	7	58
預 り 資 産	525	42	36	
損	資 金 運 用 収 益	3,170 ^{百万円}	63	
	うち貸出金利息	2,345	37	
益	資 金 調 達 費 用	461	61	
	うち預金利息	437	67	
益	役 務 取 引 等 収 支	120	7	
	経 費	2,320	91	
	コ ア 業 務 純 益	507	40	
会 員 数	68,088 ^人	1,342	55	
店 舗 数	店 舗 数	46 ^店	0	0
	うち出張所	3	0	0
店 外 A T M	店 外 A T M	43 ^{箇所}	1	0
	うち共同設置	18	0	0
役 職 員 数	役 職 員 数	792 ^人	15	52
	うちパート	16	0	1

注 本表に掲載する計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。
 主要勘定については補正前計数を使用し、損益は平成 21 年 4 月～6 月の累計で掲載しています。
 なお、本表に掲載する計数は、会計監査人の監査を受けておりません。

呉市の認知症サポーターに登録されました

「認知症サポーター 100 万人キャラバン」運動が全国で取組まれています。

呉信用金庫では、認知症の方を暖かく見守るサポーターとして呉市内店舗の職員 346 名が認知症サポーター養成講座を受講し呉市の認知症サポーターに登録されました。



理事長からひと言.....

“地域密着”の光と影

～仕事文化を考える

信用金庫制度の根幹は 会員による協同組織、営業地域の限定、 中小企業取引への特化にあり、そこから相互扶助・非営利という信用金庫の特性が生じ、業務運営の姿勢は必然的に“地域密着”ということになった。そして、地域密着は「ウサギとカメ」のカメの如く信用金庫をジワジワと健実に発展させ、それ故に地域密着を信金経営の原点とすることに疑問をはさむ者もなく、それは“美語”になっている。

信金制度の見直しというと、従来はその業務内容を銀行と同じにする（規制緩和）という方向で行われてきたが、昨年来の見直しでは、大型化した信金は銀行になったらいい、この時代に信金は必要か、という信金制度（あり方）そのものが論点になりかけた。しかし地域経済、中小企業経営の持続的発展における信用金庫の存在と機能発揮の重要さが再認識されるに及んで、上記の論点は萎んでいった。この間、業務面での規制緩和も今やさしたるニーズもなく、“地域密着”にますます磨きをかける方向で落ち着いた。

だが、私たちはもう少し先のことを考え（予測し）てみる必要があるのではないか。これまでと

同様に真面目に地域密着に汗を流していさえすれば何とかやっていると時代ではなくなった、という感じが私たちの中でだんだん強くなっている。これからのわが国経済の枠組や運営は、従前からの中央・大企業依存型が行き詰まって、地域・中小企業自立型



理事長 大年 健二

(=「地方分権」)への転換が求められている。現に多くの中小企業の活動も市・県を越え国境を飛び出してグローバルなものになるようとしている。

こうした中で、私たちは“地域密着”だけでやっていけないはずはない。地域密着をベースにしつつも、グローバルなものの見方・考え方をもち、いずれはそうした分野の業務にも対応できるようにする（場合によっては制度見直しも）必要がある。私たちの、仕事する姿勢としての“地域密着”はよい、だがそれが「井の中の蛙」状態になっていると、信用金庫はお役に立たないものになってしまう。地域に足を着け、時折首をもたげて東京を見、欧米やアジアにも思いを馳せる（時には彼の地にも行ってみる）ようにして、ビジネスチャンスを逃さず、しっかりと信金をアピールするようにしたいものである。

第14回くれしんママさんバレーボール大会を開催しました

平成 21 年 7 月 11 日 (土)・12 日 (日)、オークアリーナ、呉市体育館において 40 チーム・600 名の選手が参加され熱戦が繰り広げられました。決勝トーナメントの結果上位の成績を収められたチームは次のとおりです。



地域の部

- 優勝 仁方体協
- 準優勝 郷原同好会
- 第3位 坪内小同好会 川尻クラブ

クラブの部

- 優勝 わかばクラブ
- 準優勝 呉中央クラブ
- 第3位 熊野クラブ 三坂地小同好会

当金庫では、ママさんバレーボール大会への参加チームを募集しています。来年の第 15 回大会には、より多くのチームの参加をお待ちしています。

お問い合わせ 呉信用金庫営業店支援本部地域貢献グループ
担当 高山 TEL 0823 - 25 - 6826

7 月・8 月の行事予定

- 7月
- くれしん経営アカデミー説明会..... 7/28日
- 8月
- 「くれしんありがとうの手紙」キャンペーン..... 9/2日まで
- 第13回高校生イラスト募集 9/15日まで

相談会スケジュール

法律相談会

- 毎月第1,第3金曜日
(午後1時～午後3時)
- 8, 7 本店営業部
- 8, 21 広中央支店
- 9, 4 本店営業部

税務相談会

- 毎週水曜日
(午前9時～午前12時)
- 7, 29 下蒲刈支店
- 8, 5 倉橋支店
- 8, 12 安芸支店
- 8, 19 阿賀支店
- 8, 26 本通支店

年金相談会(随時実施)

- 本店営業部
- 常時予約可

ゆめランチ相談会

- 年金相談
- 毎月第2日曜日
(午前10時～午後5時)
- 金融商品・住宅ローンの相談は随時受け付けています

お問い合わせ・お申込みは、最寄りの営業店まで！